

## 志望校について考えてみる

年度最初の中間テストが終わり、来週ははぐま祭と、ちょっと気持ちが晴れやかな時期ですが、一方で現実も一歩ずつ進んでいきます。はぐま祭が終われば、代休の6月5日(月)には3年生のマーク模試、2年生の希望者の駿台模試があります。また、日曜日に英検がある人もいるかもしれませんね。楽しみながらも、準備すべきものは準備していきましょう。

さて、特に3年生ともなると、いよいよ本格的に受験カードに志望校を記入していくことになります。まだ志望校が決まっていない人はもちろん、第一志望ははっきり決まっているけど、第二志望以下、どうしようかと困っている人は結構多いと思います。また、1年生であれば、もう?と思うかもしれませんが文理選択についても考えはじめる時期ですし、2年生も来年度の科目選択などもちょっとずつ考えていく必要があります。どれもこれも締切はまだ先ですが、ぎりぎりになって慌ててしまい、決めたあとで、もう少し考えておけばよかった、ということのないようにしたいものです。

学年ごとに細かい中身は違いますが、どれも本質的には志望校をどうするか、という問題ですね。志望校選びにあたって、いろんな視点で考えてみるとよいでしょう。

### 大学で何を勉強するのか

まず、忘れてはならないのが、大学は勉強するところだということです。もちろん、「資格」を取得したい、という人はそれなりにいます。教員免許や、看護師、薬剤師、建築士などを目指すのであれば、ある程度進学先は絞り込めます。

ですが、資格だけが大学ではありません。やはり「学問」については真剣に考えた方がいいと思います。目先の資格や就職も気になりますが、やはり最低でも4年間勉強するところですので、自分の興味や関心により近いものを学べるところを探したいです。

以下、志望校選びで質問されがちなポイントを挙げてみました。あくまでも1つの見方ですので、いろんな資料をみたり、先生・先輩・親御さんなどに相談するなどしましょう。2年生のミニ大学も参考になりますね。

**1年生向け:文系と理系:**例えば自動車を題材としてみます。「理系は自動車をつくる」、「文系は自動車を売る」という役割だと考えてみてください。自分はどっち側(自動車に限りませんが)に興味があるのかをイメージしてみると、大きな方向性が見えてくると思います。

**理学部と工学部:**理学部は「仕組み」を学ぶ、工学部は「仕組み」の使い方を学ぶ。工学部は人間が使うものを扱う学問なので、理系の中の文系だという話を聞いたことがあります。ちなみに「**法学部**」は論理的思考を必要とするので、文系の中の理系だという話もありました。

**経済学と経営学:**経済学は社会全体のお金の流れを学ぶ、経営学は企業のお金やサービスの動きを学ぶ。

**語学(言語学)と文学:**語学は、言葉そのものを学ぶ、文学は言葉の使われ方を学ぶ。

**経済学や心理学**は、文系学部だけど数学的思考が必要。特に統計は必須。

### どういう就職をしたいのか

大学のパンフレットや HP には就職先が掲載されているので、参考にはなります。気を付けなければならないのは、「そこに就職した人がいる」のは事実ですが、「必ずそこに就職できる」わけではないということです。学生数が多い大学であれば、そりゃ誰かは一流企業に就職できるけど、**それ以外の人**もたくさんいるわけです。いい例えではないですが、磐南から毎年難関大に合格する人はいますが、磐南に入学したからって難関大に入れるという話ではないとの一緒。もちろん、卒業生が多い大学は、OBOG がたくさんいるということでもあるので、つながりが生きることもあるでしょう。ですが、小さい大学でも就職先に恵まれている大学もあります。また、特に理系の大学だと、教授と企業とのつながりで就職という話もよくあります。もちろん、研究内容が合致していることが大事ですね。

## 教育学部・教員免許について

磐南だと、学校の先生になりたいという人は一定数います。当然、「教育学部」志望になるのですが、そういう人で、ちょっとだけ気を付けておいてほしいポイントがあります。それは、「教育学部」には、大きく「教員養成」と「教育学」という2つのコースがある、ということです。「教員養成」は教員免許を取得することを目的とするコース、「教育学」は、「学習とは何か」や「学習方法／学習心理学」(＝みなさんご存じエビングハウスの忘却曲線とか)を学んだり、「教育行政」(＝学校の仕組みとか)を学んだりするコースです。実は、いわゆる旧帝大の教育学部は、「教育学」がメインとなるところがほとんどなので、教員免許そのものがとれないところもあります。

例えば、静岡大学の教育学部は、もちろん「教員養成」の教育学部がメインなので、小学校・中学校・高校の教員免許がとれます。ところが、名古屋大学の教育学部は「教育学」がメインなので、小学校の教員免許は取得できません。中学や高校の国語も英語の免許もとれません。何と、中学校社会科・高等学校地歴・公民の免許しかとれないのです。ちなみに、愛知県で教員免許をとりたいたいのであれば、愛知教育大学がありますね。

なお、小学校の教員を目指すのであれば、「教員養成」の「教育学部」を選ぶべきです。また、それとは別に、多くの大学では、それぞれの学部の授業プラス教職の授業をとることで、中学・高校の教員免許がとれるところが多いです。理学部で数学・理科の先生とか、文学部で国語の先生、外国語学部で英語の先生というのは結構いますね。

最近ではなかなか教員の人気がないという報道も多いですが、これからもう少し待遇が良くなると思います(そうやってほしい(涙))。教員を目指すのもよし、教育学を学んで、教育行政に携わり、教員の待遇改善に関わってくれるのもまたよし、だと思えます。

## 1年生向け:[間違い]理系だったら文転できる？

1年生はそろそろ文理選択を考えている時期だと思います。静岡県という土地柄もあり、「とりあえず理系を選んでおこう」、「理系だったら、文転もできる」と思っている人も少なからずいます。確かに、これまでも毎年理系から文系の大学に進学した人はいます。ですが、文転を視野に入れた理系選択は全くお勧めしません。確かに、どこの大学でもいい、ということであれば文転もありですが、一定のレベル以上を目指すのであれば、文転は大変です。単にそれだけでなく、今の2年生からの「新課程」では、「受講している授業」と「共通テストの科目」の組み合わせが変わったことにより、文転することがさらにしんどくなりました。ですので、先輩たちの文転ストーリーはあてになりません。理系を選ぶ以上、理系を全うする覚悟が必要だ、ということです。

## 1年生向け:[間違い]文系大学は入りやすい？文系の方がレベルが低い？

単に文系・理系という考え方だけでなく、国公立と私立の比較もしてみると面白いと思います。大学全体の入学生だけを見ると、文系<人文科学(文学・語学など)・社会科学(経済学・法学など)>で約50%、とりわけ経済学部・経営学部を中心とした社会科学が一番多くなります。ですが、下のグラフを見てください。国公立大学だけを取り出してみると、文系の割合はかなり低く、工学部が一番多いのです。こういうデータから、かなり強引にいうと、「私立大学の文系学部は人数が多く、入りやすい」かもしれないが、「国公立大学の文系学部はそれなりに狭き門だ」ということです。私立も含めると文系の大学の幅はかなり広く、いろいろ言われることもありますが、国公立文系については、レベルも高く、企業もそれなりに評価をしています。

もちろん、全体の人数だけでなく、各大学の個性・特徴も重要です。そのあたりについては次号に続く。

